

JVCケンウッドが商用車向けテレマティクスに参入

2020年2月5日

ドライブレコーダーに通信機能をもたせる

JVCケンウッドは、トラック運送業界を対象とした商用テレマティクス分野への参入に向けて通信型ドライブレコーダーを開発したと発表した(2018年5月) タクシー業界向けのテレマティクスソリューションに続いて、トラック運送業界を対象とした商用テレマティクス分野への参入に向けて通信型ドライブレコーダーを開発した

新開発の通信型ドライブレコーダーは、高画質録画に加え、通信機能を持たせることで、記録した映像や急加速・急減速といった運行情報、位置情報などをクラウドサーバーへ直接送信することが可能。安全運転支援や運行情報の管理、事故など緊急時の迅速な対応といったサポートが可能となる



■米国損保会社 MS&ADグループに採用された

■ドライブレコーダーおよび視線形測装置 (Gazefinder)を活用したドライバーの身体・認知機能に関する実証実験を「あいおいニッセイ同和損保」および豊田市と共同で2020年2月から開始
(身体・認知機能低下の兆候を早期に認識する機会を提供することで、安全・安心なモビリティ社会の実現を目指す)

